

FURUTECH

Review

Mac Audio
2013 - Japan



D/A Converters

ADL Esprit

¥71,400



A/Dコンバーターを内蔵、
プリアンプとしても使える
多機能モデル



●前面アナログ出力端子(ヘッドホン・100Ω/20kΩ) ●入
力端子(アナログ・S/PDIF、MIDI、USB、D/Aコンバーター)
●D/Aコンバーター ●電源スイッチ ●電源端子
●背面端子(ヘッドホン・100Ω/20kΩ) ●電源端子

Macな視点

コンパクトなボディだが、面白い機能もいろいろつづ
っている。それはD/AもそのほかのA/Dも兼ねることができること
だ。つまり、レコードやカセットテープのアナログ信号を、
デジタルデータにするのが得意なモデルである。今回は試し
ていないが、過去の型番をデジタルオーディオ化するの
に、便利な機能である。アナログレコードの復元をデジタル
化無し、iTunesで管理、iPadで聴くなど、なんでもでき
そうだが、

オーディオファンなら、フルセックとい
う社名はどこかで必ず聞いたことがあるほ
ずだ。もう、高級なケーブルやアクセサリ
をワークスペースで盛り出している企業だ。
そんな社名から音アンプとして立ち上
がったのが、ADLアルファ・アンプイン
テグで、主としてコストパフォーマンスの
高いプロダクトを開発・展開している。
本誌は1984年2月号まで対応したD/Aコ
ンバーターとしての機能は、まず挙げられ
る。そのマサチューセッツ、どんなジャンルでもそ
つなくこなす、機能的なものだ。D/Aコン
バーターのデジタル・ミュージック・リマスタ
ィング(1984年2月号)では、最もが

でるベースに組み込まれるが、それが野暮
ったくなることはない。他のシステムでは、
ベースがやや大きめに敷き込まれることが多
いが、ここではほどよく抑えられている。その
反面、初期の機能は限定的。音楽の方向
よりも、調音を目的とするようだが、サ
ウンドアナライズとの統合を促したトー
ングヘッドの「メイン・イン・サイト」
(1984年2月号)で、ここでもD/Aコン
バーター、ヴォーカルやギター、ドラムがま
んまと整理されてしまうようだ。解けるよ
うなスピード感や、前後左右に音が動くよ
うな空間感はこのことにはあまりない。一
方で伊藤プロデューサーは、1984年

(2月号)のようなアナログステレオ
システムは、立ち上がるようなマイルドなト
ーンで、十分に楽しめる。
また、このモデルはヘッドフォンア
ンプとしても活用できる。種々なかでア
ンプは高品質で安定しない。もう少し音
質にこだわりたいなら、ヘッドフォ
ンをオーアンプにするとよいだろう。
ラインアウトからアンプにつなぐとセ
ンズで聴くこと、ヘッドフォンで聴くこと
は、音楽を聴いたり楽しむという楽しみ
という趣向にマッチする。(中略)